

カブラハバチ (Cabbage sawfly)

Athalia rosae ruficornis Jakovlev



カブを食害する幼虫



成虫

発生生態

春から秋にかけて発生します。アブラナ科野菜の葉の組織中に産卵し、卵からかえった真っ黒の幼虫は葉に小さな穴をあけて食害します。大きくなると、太い葉脈だけを残して食害するため、葉は網目状になります。わずかな刺激におどろいて、地面に落ちて体を丸めるので見つけることが難しいです。

防除対策

よく観察し、被害を見つけたら、直ちにカブラハバチに登録のある薬剤を散布しましょう。幼虫が葉上に多い晴天の日に散布すると効果的です。また、成虫が産卵できないように寒冷紗で覆うことも有効です。